

## 観光立国推進協議会 第1回二次交通専門部会

日 時 : 令和元年6月25日(火)  
10:00~12:00

場 所 : 公益社団法人日本観光振興協会 会議室

### 議 題

1. 二次交通専門部会令和元年度の事業について
2. 各社団体の二次交通への取り組み
3. 国土交通省・観光庁からの情報提供

### 配布資料

- 資料1 二次交通専門部会委員名簿
- 資料2 第1回二次交通専門部会出席者名簿
- 資料3 二次交通専門部会令和元年度の活動について
- 資料4 二次交通モデル事業について
- 資料5 二次交通空白地域調査事業について
- 資料6 観光型Ma a Sについて

## 観光立国推進協議会 二次交通専門部会 名簿

2019.6.25

	氏名	所属	役職
1	委員長 清水 哲夫	首都大学東京	都市環境科学研究科 観光科学域 教授
2	石川 英一	成田国際空港株式会社	経営企画部門 経営企画部 観光/オリンピック・パラリンピック推進グループ マネージャー
3	内田 有映	アソビュー株式会社	地域戦略部長 兼 アソビュー総研所長
4	大谷 聡	株式会社JTB	法人事業本部 事業推進部 地域交流事業推進部長
5	小川 智史	ジョルダン株式会社	法人本部 法人営業部長
6	川口 明子	公益財団法人日本交通公社	観光経済研究部 上席主任研究員
7	熊谷 敦夫	一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会	業務部長
8	甲田 秀久	一般社団法人全国レンタカー協会	専務理事
9	小林 直紀	東日本高速道路株式会社	経営企画本部 経営企画部 経営戦略課長
10	塩田 信司	日本航空株式会社	旅客販売統括本部 企画部 担当部長
11	鈴木 健史	公益社団法人日本バス協会	業務部 参事
12	滝澤 広明	一般社団法人日本民営鉄道協会	運輸調整部長
13	津田 吉信	一般社団法人日本旅客船協会	企画部長
14	中村 慎一	全日本空輸株式会社	マーケティング室 観光アクション部 担当部長
15	永森 枝里子	株式会社ナビタイムジャパン	交通コンサルティング事業部 統括マネージャー
16	濱野 一哉	東武トップツアーズ株式会社	国際事業推進部 専門課長
17	槇島 章人	株式会社NTTDコモ	IoTビジネス部 先進ビジネス推進 担当課長
18	松田 圭史	日本空港ビルデング株式会社	経営企画部長
19	向田 敏弘	東日本旅客鉄道株式会社	観光戦略室 課長
20	毛利 直俊	一般社団法人東北観光推進機構	事業企画部長
21	オブザーバー 松平 健輔	国土交通省	総合政策局 公共交通政策部 交通支援課 企画調整官
22	オブザーバー 小林 茂樹	観光庁	外客受入担当参事官室付 課長補佐(総括)
23	久保 成人	公益社団法人日本観光振興協会	理事長
24	久保田 穰	公益社団法人日本観光振興協会	副理事長
25	相京 俊二	公益社団法人日本観光振興協会	常務理事
26	中村 晃	公益社団法人日本観光振興協会	常務理事
27	伊藤 博之	公益社団法人日本観光振興協会	理事 企画政策部長
28	丸山 裕司	公益社団法人日本観光振興協会	審議役 観光地域づくり・人材育成部門担当
29	杉野 正弘	公益社団法人日本観光振興協会	観光地域づくり・人材育成部門 地域ブランド創造部長
30	増田 博行	公益社団法人日本観光振興協会	観光地域づくり・人材育成部門 地域ブランド創造担当部長
31	上村 基	公益社団法人日本観光振興協会	客員研究員

## 2019.6.25 観光立国推進協議会 第1回二次交通専門部会 出席者

	氏名	所属	役職
1	石川 英一	成田国際空港株式会社	経営企画部門 経営企画部 観光/オリンピック・パラリンピック推進グループ マネージャー
2	内田 有映	アソビュー株式会社	地域戦略部長 兼 アソビュー総研所長
3	大谷 聡	株式会社JTB	法人事業本部 事業推進部 地域交流事業推進部長
4	小川 智史	ジョルダン株式会社	法人本部 法人営業部長
5	川口 明子	公益財団法人日本交通公社	観光経済研究部 上席主任研究員
6	甲田 秀久	一般社団法人全国レンタカー協会	専務理事
7	小林 直紀	東日本高速道路株式会社	経営企画本部 経営企画部 経営戦略課長
8	塩田 信司	日本航空株式会社	旅客販売統括本部 企画部 担当部長
9	鈴木 健史	一般社団法人日本バス協会	業務部 参事
10	滝澤 広明	一般社団法人日本民営鉄道協会	運輸調整部長
11	中村 慎一	全日本空輸株式会社	マーケティング室 観光アクション部 担当部長
12	永森 枝里子	株式会社ナビタイムジャパン	交通コンサルティング事業部 統括マネージャー
13	濱野 一哉	東武トップツアーズ株式会社	国際事業推進部 専門課長
14	槇島 章人	株式会社NTTドコモ	IoTビジネス部 先進ビジネス推進 担当課長
15	松田 圭史	日本空港ビルディング株式会社	経営企画部長
16	向田 敏弘	東日本旅客鉄道株式会社	観光戦略室 課長
17	毛利 直俊	一般社団法人東北観光推進機構	事業企画部長
18	オブザーバー 松平 健輔	国土交通省	総合政策局 公共交通政策部 交通支援課 企画調整官
19	オブザーバー 小林 茂樹	観光庁	外客受入担当参事官室付 課長補佐(総括)
20	久保 成人	公益社団法人日本観光振興協会	理事長
21	委員長 代理 久保田 穰	公益社団法人日本観光振興協会	副理事長
22	相京 俊二	公益社団法人日本観光振興協会	常務理事
23	中村 晃	公益社団法人日本観光振興協会	常務理事
24	伊藤 博之	公益社団法人日本観光振興協会	理事 企画政策部長
25	丸山 裕司	公益社団法人日本観光振興協会	審議役 観光地域づくり・人材育成部門担当
26	杉野 正弘	公益社団法人日本観光振興協会	観光地域づくり・人材育成部門 地域ブランド創造部長
27	増田 博行	公益社団法人日本観光振興協会	観光地域づくり・人材育成部門 地域ブランド創造担当部長
28	上村 基	公益社団法人日本観光振興協会	客員研究員

## 観光立国推進協議会二次交通専門部会令和元年度の活動について

インバウンドが増加する中、団体旅行から個人旅行へのシフト、リピーターの地方部進出がデータからも明らかになっているが、その一方で地方部においては、駅や空港といった拠点と観光スポットを結ぶ公共交通（二次交通）が過疎化や人手不足などにより衰弱しており、増大するインバウンドに対応できていない地域が見受けられる。政府が掲げるインバウンド2020年4,000万人達成に向けて、ここをしっかりとケアすることが必要である。

当協会では、二次交通に関しては、平成29年度から観光立国推進協議会において事例調査を実施し報告書を取りまとめてきたが、今年度からは観光立国推進協議会に「二次交通専門部会」を新たに設置し、以下の活動を通じて二次交通に関する課題への対策を検討していく。

**1 二次交通モデル事業の実施**

## (1) 事業内容

岩手県花巻市をモデル地域に指定し、基礎調査やヒアリング調査、検討会議等を通じて当該地域の二次交通のあるべき姿について検討を行う。

## (2) 事業実施時期

令和元年7月～令和2年度

## (3) 関係者

花巻市、(一社)花巻観光協会、(一社)東北観光推進機構、など

## (4) 予算

2か年で総額500万円（日本財団基金事業）

**2 二次交通空白地域調査の実施**

## (1) 事業内容

特定地域の二次交通と観光スポットの網羅性を調査し、当該エリアの二次交通空白地域を把握する。

## (2) 事業実施時期

令和元年7月～年度内

## (3) 関係者

調整中

## (4) 予算

調整中

## (5) その他

本調査を通じて確立した空白地域抽出手法を、調査対象エリアをより広域に拡大して活用することを検討していく。

**3 二次交通統合型サービス（観光型 MaaS）についての効果検証**

## (1) 事業内容

欧州で進められている MaaS の導入手法や効果等について検討を行う

## (2) 事業実施時期

今年度内

## 観光立国推進協議会二次交通専門部会事業 活動スケジュール（案）

2019. 6. 25

時期	二次交通モデル事業	二次交通空白地域調査
2019 6	事業内容検討 事業スキーム確定、現地意向確認、基礎調査内容 検討等  11-12 現地打合せ 現地意向最終確認、事業内容最終確認、現地視察  《25①二次交通専門部会》事業概要説明	調査内容検討 調査スキーム確定       《25①二次交通専門部会》調査概要説明
7	事業内容確定 基礎調査ならびに検討開始	調査内容確定 調査開始
9	基礎調査終了	
11	方向性とりまとめ 《②二次交通専門部会》中間報告	《②二次交通専門部会》中間報告
12	次年度事業検討	調査終了
2020 2	《③二次交通専門部会》次年度事業方針説明	調査結果報告書とりまとめ、今後の展開検討 《③二次交通専門部会》調査結果報告
春	実証実験開始	
秋	中間報告	
2021 2	最終報告	

## 二次交通モデル事業について

二次交通専門部会事務局

観光立国推進協議会二次交通専門部会では、モデル地域を指定し、その地域における基礎調査やヒアリング調査、検討会議等を通じて、地域交通という側面も考慮しながら、二次交通に関する課題を解決していく。具体的には以下の内容で進めていきたい。

## 1 選定地域

岩手県花巻市

## 2 選定理由

東北エリアは、インバウンドが増加する一方で、高齢化と人口減少が急速に進行し、公共交通体制の維持と整備のバランスが求められるエリアである。そこで、東北エリアの中で空港や駅といった交通拠点を持ち、かつ温泉やワイン工場などの観光資源を持つ岩手県花巻市をモデル事業実施地域に指定した。

## 3 花巻市の概要

## (1) 地勢

岩手県中西部に位置し、人口約 95,000 人。県南広域振興圏に位置し、南に隣接する北上市とともに北上都市圏を構成する。市内には、岩手県唯一の空港「花巻空港（愛称：いわて花巻空港）」を有し、鉄道では東北本線花巻駅と東北新幹線新花巻駅の 2 駅、高速道路のインターチェンジでは、東北自動車道花巻南 I C と花巻 I C、東北横断自動車道花巻空港 I C と東和 I C の 4 つを持つなど、高速交通網が整備されている。2006 年 1 月 1 日、(旧)花巻市・稗貫郡石鳥谷町・稗貫郡大迫町・和賀郡東和町が合併し、(新)花巻市となった。

## (2) 観光に取り組む体制

花巻市商工観光部観光課

一般社団法人花巻観光協会

1954 年発足、2014 年一般社団法人化。会長佐々木博氏（佐々長醸造代表取締役社長）。今年 6 月 14 日、地域 DMO 候補法人申請。

## (3) 観光客の入込推移

	(単位：)		
	観光客	延べ宿泊者	外国人観光客
2014(平成26)年	2,176,290	872,033	14,643
2015(平成27)年	2,165,633	864,315	19,771
2016(平成28)年	2,227,046	872,157	23,012
2017(平成29)年	2,140,602	830,973	45,956
2018(平成30)年	2,012,089	797,450	49,886

## (4) 観光

宮沢賢治生誕の地、わんこそば発祥の地、南部杜氏発祥の地、である。

主な観光スポット（数値は 2017 年の入込数）

花巻温泉郷（花巻温泉、台温泉、金矢温泉）（※南温泉郷と合わせて 1,030,417 人）

花巻南温泉郷（松倉温泉、志戸平温泉、渡り温泉、大沢温泉、山の神温泉、鉛温泉新鉛温泉）

宮沢賢治関連施設

宮沢賢治記念館（116,915 人）、胡四王山・ポランの広場、宮沢賢治童話村・賢治の学校（96,410 人）、宮沢賢治イーハトーブ館（26,236）、雨ニモマケズ詩碑、羅須地人会などが市内に点在

高村光太郎関連施設

高村山荘、高村光太郎記念館。（同一敷地内）

花巻新渡戸記念館

エーデルワイン（44,136 人）

古くからブドウ栽培が盛んな旧大迫町にある第三セクターの会社（株主は花巻市・全農岩手県本部・花巻農協など）。国内外のコンクールで数多くの賞を受賞している。直売所「ワインシャトー大迫」で試飲可能、工場見学可能

早池峰神楽

1976 国の重要無形民俗文化財、2009 ユネスコ無形文化遺産。大償神楽と岳神楽の総称。500 年以上の伝統を持つ非常に歴史のある神楽。

南部杜氏伝承館、酒匠館（物産施設）（39,603 人）

旧石鳥谷町の「道の駅石鳥谷南部杜氏の里」に併設。※酒蔵は「川村酒造店」があるのみ（見学不可）。

## (5) 交通

## ① いわて花巻空港

	（単位:人）		
	合計	定期便	チャーター便
2014(平成26)年	396,966	382,002	14,964
2015(平成27)年	399,427	391,195	8,232
2016(平成28)年	417,130	408,488	8,642
2017(平成29)年	436,146	413,133	23,013

ターミナルビルは当初滑走路西側にあったが、2009 年 4 月東側に移設。

国内線（/日） JAL:新千歳 3 便（8:40 着・14:25 着・16:45 着）

（9:00 発・14:55 発・17:20 発）

伊丹 4 便（8:30 着・11:50 着・15:40 着・18:10 着）

（9:15 発・12:25 発・16:10 発・18:45 発）

福岡 1 便（13:40 着・14:10 発）

FDA:小牧 4 便（8:20 着・11:15 着・15:45 着・18:20 着）

（8:50 発・11:45 発・16:15 発・18:50 着）

国際線（/週） IT:台北(桃園)水・土。（16:50 着・17:50 発）2018.8～。

MU:上海(浦東)水・土。（14:10 着・15:10 発）2019.1～。

リムジンバス(岩手県交通)

盛岡市内行き 9 本（土曜日のみ 10 本）、1,400 円。

#### 花巻空港駅

旧二枚橋駅を 1988 年 3 月改称。現ターミナルビルと 3.8 扣離れている（旧ターミナルでも 2 扣離れていた）。岩手県交道路線バス石鳥谷線（当駅-空港-花巻駅-北上駅）があった（航空ダイヤと無関係）が、前述ターミナル移転時本路線ルートは変わらず、花巻駅-新ターミナル間（花巻空港非経由）路線バス新設。その後、2013 年 10 月、空港-花巻駅間路線バスが廃止され、リムジンバスが当駅を経由することになった（ただし空港を乗降目的としない乗降は不可）。

#### ②新花巻駅（東北新幹線・釜石線）

新幹線は上下それぞれ 19 本ずつ停車（東京直通は 17 本）

1 日平均乗車人員 930 人（2017 年）

釜石線ホーム（無人）は新幹線駅舎と離れており、改札外で乗り換えをする。

路線バス 土沢-新花巻駅-賢治記念館-花巻市街 平日 9 本・土休日 4 本

大迫-新花巻駅-花巻市街-県立中部病院 平日 4 本・土休日 2 本

#### ③路線バス（岩手県交通）

	路線数	合計	（単位：本）	
			定期外	定期
2014(平成26)年	18	711,175	591,264	119,911
2015(平成27)年	18	708,371	585,771	122,600
2016(平成28)年	18	674,329	564,018	110,311
2017(平成29)年	18	670,836	579,067	91,769

#### ○市内循環バス「ふくろう号(右回り)」「星めぐり号(左回り)」

従来新花巻駅-賢治記念館口-新渡戸記念館-イトヨカド-花巻駅-厚生病院前-花巻駅-新花巻駅を結んでいた(6 本/日)を、2009 年 10 月から市街地だけの循環コースに変更し 10 本/日に増便、2018 年 10 月からは 20 本/日に増便。大人 100 円。

#### ○路線バス

石鳥谷線（石鳥谷-花巻市街-北上駅） 平日 18 本 土休日 12 本

花巻温泉線（花巻市街-花巻温泉-台温泉） 平日 16 本 土休日 13 本

湯口線（花巻駅-花巻南温泉郷） 平日 13 本 土休日 9 本

土沢線（花巻市街-新花巻駅-土沢） 平日 9 本 土休日 4 本

大迫花巻線（大迫-新花巻駅-花巻市街-県立中部病院） 平日 4 本 土休日 2 本

この他に 4 路線

#### ④タクシー

15 社 192 台。営業区域は「花巻交通圏（花巻市）」。

#### ⑤その他特徴的な交通手段

##### ○新花巻駅-花巻温泉郷・花巻南温泉郷間無料送迎バス

新花巻駅-花巻温泉郷間 1 日 3 往復

新花巻駅発 15:00 16:10 17:15 花巻温泉佳松園発 8:10 9:10 10:20

新花巻駅-花巻南温泉郷間 1 日計 7 往復

##### ○乗合観光タクシー「どんぐり号」「やまねこ号」（花巻観光協会）

「どんぐり号」（午前コース）花巻駅発→花巻温泉郷→高村光太郎記念館→雨ニモマケズ詩碑→宮沢賢治記念館→新花巻駅 大人 1 名 3,000 円

「やまねこ号」（午後コース）新花巻駅→花巻新渡戸記念館→宮沢賢治記念館→ワ



インシャト一大迫→早池峰と賢治の展示館→酒匠館→新花巻駅→花巻駅→花巻温泉郷 大人1名 3,000円

「どんぐりとやまねこ号」(午前コース+午後コース) 大人1名 5,500円  
レトロジャンボタクシー(9人乗り)を使用

○仙台空港・松島・平泉・花巻線(岩手県北バス)

2017.1.25 から仙台空港二次交通運行調査業務事業として、仙台空港-平泉間で運行開始(岩手県平泉町と宮城県東松島市・松島町が岩手県北バスへ運行委託)、2017.4 から岩手県北バス自主運行。2018.5.11 から花巻空港まで延伸、2018.7.21 から花巻温泉まで延伸、5日間有効のフリーきっぷ(大人片道5,000円)発売開始

#### 4 花巻市現地打合せ・視察

##### (1) 概要

実施日時：令和元年6月11日(火)～12日(水) 17時から18時30分

参加者：(花巻)花巻市商工観光部観光課 高橋課長  
(一社)花巻観光協会 平塚専務理事  
(一社)花巻観光協会 似内事務局長  
(日観振)丸山審議役、上村客員研究員、増田

##### (2) 議論内容

(花巻側より)

- ・バスは生活路線が中心。市街地を走る循環バスがあるが、これは当初はもっと大回りで観光地周遊と市内交通を兼ねるものであったが、利用が振るわず現在の形になった経緯がある。観光面でのバスは、新花巻駅と花巻温泉、花巻南温泉郷をそれぞれ結ぶ無料送迎バスがある(運行費用は市と温泉組合との折半)。
- ・現在、新花巻駅・花巻空港・賢治記念館3箇所の循環バス試験運行を計画中(一周約30分、夏休み期間に計30日間)。これを今回のモデル事業の柱にと考えている。賢治記念館は、坂の下にしか路線バスの停留所がないため、それを解消したい。より良いコースを再検討できればと思っている。
- ・数年前から花巻市内の観光スポットを巡る観光乗り合いタクシー「どんぐり号(午前コース、花巻駅→花巻温泉→観光スポット→新花巻駅)」「やまねこ号(午後コース、新花巻駅→観光スポット→新花巻駅→花巻駅→花巻温泉)」の運行を開始した。いずれも当初は料金無料でスタートしたが、現在はそれぞれ一人3,000円。
- ・花巻空港の国際便について、チャーター便時代(台湾、2014～2018)は、到着後全員がバス数台に乗り込む状態で、定期化後(花巻-台湾、TR週二便、2018～)は、バスは2台程度で残りはレンタカーもしくは新花巻駅へ出て新幹線乗車。

(日観振より)

- ・新たに走らせる循環バスだが、原案での実施ではルートや周知不足が懸念され、効果が不透明なので、コースや周知体制を再度検討のうえ、運行時期を再考したほうが良いのではないか。
- ・インバウンドの意向・動向などの詳細データが無いため、まずはそれらの基礎調査をしっかりとやる必要がある。今年度は基礎調査とそれを踏まえた対策の検討、次年度に対策の実施というスケジュールが妥当か。

## 5 課題

- 地域交通としての路線バスはそれなりに存在するものの、観光目線での路線バス網が無いに等しい。
- 観光タクシー（「どんぐり号」「やまねこ号」）があるが、周知不足で利用実績が低迷している。

## 6 今後の進め方・事業計画

- まず観光客の動向調査を実施する（花巻空港、観光施設、宿泊施設でのヒアリングなど）。その後、調査を踏まえた検討会を実施し、バスの実証実験を行う。
- 実証実験の結果を踏まえて再度検討会を実施し、商品化を視野に入れたバス運行ルートの見直しを行う。
- 観光タクシーの情報発信のための、インバウンド向け多言語情報サイトの立ち上げなど

## 二次交通空白地域調査事業について

二次交通専門部会事務局

観光立国推進協議会二次交通専門部会では、今年度、特定エリアにおける二次交通空白地域調査を実施する。

## 1 調査実施エリア

宮城県

## 《選定理由》

調査を行ううえで、そのエリアのベースとなる拠点（空港や駅）、観光スポット、観光客数などの適度なバランスが必要と考えるが、東北エリアの一大拠点である仙台空港や仙台駅を有すること、松島や有名温泉などの観光要素も多いことなどから、宮城県を選定した。

## 2 調査内容案

二次交通の充実度を示す項目は、交通拠点、観光資源、路線バス、タクシー、レンタカー、レンタサイクル、駐車場情報など様々あるが、時間やコスト面を勘案し、2019年度は路線バスに絞り、上記エリアにおいて地図上にプロットした路線バスデータと、観光資源（位置、訪問客数を反映）を照らし合わせ、そこがリンクしないところを「空白地域」として定義し、この「空白地域」が実態と合っているかを検証し、妥当性が高ければ、水平展開を図っていく。

## 3 今後の課題

路線バスデータの抽出方法

観光資源の選択・把握方法

単純往復だけではなく周遊型の移動状況調査が可能か など